

2021年3月18日

「介護プライド」を体現している真のプロフェッショナル 『介護プライドマイスター』を選出・任命

SOMPOケア株式会社（本社：東京都品川区／代表取締役社長 遠藤 健、以下、「当社」）では、専門性の高い介護技術・知識と心の豊かさを持って、ご利用者さまの生きがいや充実感ある毎日を支えることを、「介護プライド」と位置づけ、真のプロフェッショナルを育成しています。

このたび、「介護プライド」を体現している象徴的な介護職員を全国から12名選出し、『介護プライドマイスター』として任命しましたので、お知らせします。今後、『介護プライドマイスター』に任命された職員は、将来の介護プライドマイスター育成等の役割を担っていきます。

また、併せて公式ウェブサイト内に介護プライドマイスター特設サイトをオープンしました。

1. 背景・目的

当社は、企業理念に掲げる「人間尊重」という考え方にに基づき、介護を必要とするご利用者さまお一人おひとりに寄り添う個性の高い介護サービスを追求しています。そのために必要な高い専門性と豊かな心の態度を「介護プライド」と名づけ、確かな技術と誇りを育む人材の育成に注力するとともに、仕事としてのやりがいを醸成する処遇改善、サービス品質の向上などに取り組んでいます。

このたび、介護職員がプロフェッショナルとして目指すべき職員像に見える化し、より一層仕事に誇りを持つ環境を創出することを目的に『介護プライドマイスター制度』を創設、全国約12,000名の介護職員の中から12名の『介護プライドマイスター』を任命しました。今後、『介護プライドマイスター』を多く育成することで、これまで以上に品質の高い介護サービスの提供を目指していきます。



現場と同じ環境を模した企業内大学「SOMPOケア ユニバーシティ」で理論と実技を学ぶ介護スタッフ

2. 『介護プライドマイスター』の概要

(1) 役割

介護技術・知識などの専門性をさらに高めていくための当社独自の教育カリキュラムを受講し、介護職員としての使命即ち「介護プライド」を率先して全国の介護職員に伝え、将来の介護プライドマイスターを育成していくこと。

(2) 選考基準

1. 介護プライドを持ち、成長したい意欲のある人物である
2. マインド・接遇・介護医療知識・技術に長けている人物である

(3) 選考方法

一次選考：地域ごとの選考により、全国約 12,000 名の介護スタッフの中から、42 名の介護プライドマイスター候補を選出。

二次選考：介護実践レポート審査・役員面談・グループディスカッション等の選考を経て、介護プライドマイスター候補の中から、12 名の介護プライドマイスターを選出。



倉原 ちひろ

サービス付き高齢者向け住宅であるSOMPOケア そんぽの家S練馬土支田（東京都練馬区）に勤務。2016年に新卒入社。介護福祉士、社会福祉士の資格を持つ

<介護プライドマイスターからのメッセージ>

大学では福祉を専攻していました。就職活動をするなかで、「人間尊重」を経営理念に掲げ、ご利用者さまお一人おひとりの価値観や、やりたいことを最大限に尊重しようという企業姿勢に惹かれ、当社に入社しました。入社5年目となった現在は、現場の介護職員を取りまとめるケアコンダクターとして、充実した日々を送っています。常に心掛けていることは「可能な限りご利用者さまにお声がけする」こと。少し会話を交わすだけでも、体調などに変化があればそれに気付くことができます。これから、今回評価していただいた私の技術や知識、介護に対する姿勢を周りに伝えながら、自分の成長に繋がりたいと思っています。

介護プライドマイスター特設サイトはこちら

<https://www.sompocare.com/kaigopride>

3. 今後について

当社は、今後も「世界に誇れる豊かな長寿国日本」を実現する原動力となる『介護プライドマイスター』を育成し、介護を必要とする方お一人おひとりに最高品質のサービスを提供していきます。

以上